

診療局：放射線科

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
部長兼中央放射線部長 兼放射線治療センター長	稲場 文隆
医 長	中田 耕平
非常勤医師	足立 至

—概要—

当科では一般撮影検査、マンモグラフィ、消化管造影検査、X線CT検査、磁気共鳴断層(MRI)検査、血管造影検査、核医学(RI)検査など画像診断全般を行っている。また、IVR(Intervental Radiology)も行っている。

近隣の医療機関からの依頼に対しては、CD-Rにて画像出力を行い、所見とともに返信している。

常勤医2名と非常勤医1名で診療、診断を担当している。診断医はすべて放射線診断専門医である。

1997年10月に当センターが開院して22年が経過し、多くの放射線診療機器が更新の時期を迎えている。2018年度には乳腺撮影装置とCTの一台が更新されたが、2019年度は残りのCTの一台、血管撮影装置の一台、一般撮影装置が最新機種に更新され稼働している。

【機器構成】

一般撮影装置	4台
乳房撮影装置	1台
X線テレビ装置	3台
骨塩定量装置	1台
CT撮影装置	2台 (80列、320列)
MRI検査装置	2台 (3T、1.5T)
血管撮影装置	2台 (バイプレーン)
核医学検査装置	1台 (SPECT)

【放射線科関連情報システム】

放射線情報システム(RIS) (富士フィルム)
統合画像管理システム(PACS) (富士フィルム医療ソリューションズ)
放射線レポート管理・配信システム (富士フィルム医療ソリューションズ)
ネットワーク型3次元画像処理システム(ZIO)

—実績—

読影総件数は、29,268件であった。

	2019年			2020年	計
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
CT	3,841	4,135	4,165	3,940	16,081
MR	1,635	1,818	1,574	1,459	6,486
IVR・血管造影	6	4	6	12	28
単純(除く乳腺)	418	498	431	399	1,746
乳腺	219	246	231	237	933
RI	265	286	285	250	1,086
他院読影	752	744	758	654	2,908
計	7,136	7,731	7,450	6,951	29,268

—今年度の成果と反省点—

当科医師は常勤医師2人体制で、診療規模に比べ労力不足である状況が改善できていない。

—来年度への抱負—

地域中核病院の中央診断部門の主科として、標準的な診療を提供できるよう努めていきたい。